

# ホームヘルパーも講師になり、 外部研修で学んだことを伝授

認定特定非営利活動法人 陽だまり

## 伝達研修の流れ

各自が年毎に個人目標を立て、  
そのテーマに沿った外部研修へ随時参加  
(東広島ヘルパー支援部会主催研修や  
民間企業によるものなど、特に制限なし)

外部研修を受講

ホームヘルパー同士で事前打ち合わせ  
(1人の場合もあり)

準備が整い次第、伝達研修を開催

「現場の判断力の向上」と「技術指導で  
きるホームヘルパーの育成」を目的に、  
毎月2回の研修を実施している当法人。  
必須研修の講師はサービス提供責任者  
などが務めますが、それは別枠で「ホ  
ームヘルパーによる伝達研修」を取り  
入れ、過去2年の間にすべてのホーム  
ヘルパー(14人)が2回以上、講師を経  
験しています。

管理者の佐々木政美さんは、「ホーム  
ヘルパーの自主性が高まってきたなど  
いう実感があり、今後も継続したいと  
考えています」と話します。

すべての  
ホームヘルパーが年に  
一度は研修を担当！

## ホームヘルパーによる「口腔ケア実技研修」の様子



自分が行けなかった  
外部研修の話も  
聞けるのかわいい

人に伝えるために  
勉強することで、  
理解が深まった

### ホームヘルパーの声

講師となるホームヘルパー  
同士で話し合うことで、  
結束が強まった

地域の歯科医師から習った口腔ケアの方法  
を参加者に説明。座学の後、2人1組に  
なって「歯みがきする側」と「される側」の  
両方を体験してもらった。この流れも、ホ  
ームヘルパー同士で話し合っただけで決めたそう。

認定特定非営利活動法人  
陽だまり

誰もが安心して暮らせるまちづく  
りの実現を目的として発足した、  
広島県東広島市のNPO法人。訪  
問介護のほか、「放課後こどもく  
らぶ」「陽だまりクラブ(会員制た  
すけあい活動)」などを展開。  
<http://www.npo-hidamari.or.jp/>

## ほかにも気になることを聞いてみた！

回答者：佐々木政美さん(管理者)

Q. 「講師なんてできない」という  
声はなかった？

A. 「人前で話すのが苦手」という声  
もありましたが、同じ外部研修に参加  
した仲間同士でうまく役割分担(説  
明する人と実技を披露する人など)し  
てもらい、不安を軽減しました。

Q. 参加率アップの工夫は？

A. サービス終了後では集まるのが難  
しい人も多かったため、毎月2回(お  
もに木曜日)の13時~14時半、サー  
ビスを入れない時間を確保。この時だ  
けは新規契約なども受け付けず、集  
中して研修に取り組むことにした結果、  
参加率はほぼ100%となりました。